

ダイキングループ 『サステナビリティレポート 2018』
第22回 環境コミュニケーション大賞「優良賞」を受賞

ダイキン工業株式会社が発行した『サステナビリティレポート 2018』が、このたび、第22回環境コミュニケーション大賞（主催：環境省、一般社団法人 地球・人間環境フォーラム）の環境報告書部門において「優良賞」を受賞しました。

「環境コミュニケーション大賞」は、優れた環境報告書や環境活動レポートなどを表彰する制度です。事業者を取り巻く関係者との環境コミュニケーションを促進し、その質の向上を図ることを目的としています。

今回の「優良賞」受賞においては、予測される事業リスクや機会に基づき「環境ビジョン 2050」を策定したことや、バリューチェーン全体でCSRの取り組みを実践していく姿勢が評価されました。

本レポートは、環境負荷を低減しながら、人と空間を健康で快適にすることを目指すダイキングループが、持続可能（サステナブル）な社会に貢献していくための考え方や取り組みをまとめています。「持続可能な開発目標（SDGs）」や「パリ協定」など世界的な枠組みを踏まえ、エネルギーの効率化や気候変動への対応、それら取り組みを支える人材の育成など、当社ならではの事例を掲載しています。

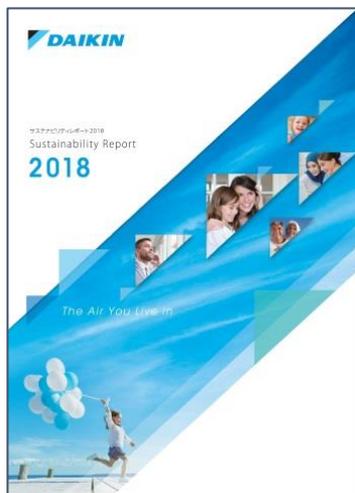
当社グループは今後も引き続き、事業を通じて社会課題の解決に取り組み、世界規模で持続可能な社会の実現に貢献していきます。



【今回の主な受賞理由】

- ・国連やOECD等、様々な国際的文献・データに基づいて2050年の社会を予測した上で、事業リスクや機会を洗い出し、「環境ビジョン 2050」を策定している
- ・事業が社会に与える影響を、調達から製造、販売、保守などバリューチェーン毎に評価して、自社に求められる課題を分析し、マテリアリティ（CSRの重点課題）を策定している

【ご参考】CSR・環境の取り組み WEB サイト：<http://www.daikin.co.jp/csr/index.html>



『サステナビリティレポート 2018』



表彰式の様子（2019年2月20日）